



# 朝日子だより

## 社会人編 Vol.15

吉田高校の皆さんへ

少しでも皆さんが今後について考えるお役に立てれば幸いです。  
進路実現に向けて頑張ってください。

渡邊 咲貴（平成24年度 普通科卒）  
ムラマツフルート製作所 製造2課 所属  
中部楽器技術専門学校 管楽器リペア科 卒業

## 仕事の内容

# 皆

さんはフルートという楽器をご存知でしょうか？吉田高校にもあります吹奏楽部には必ず奏者がいる楽器と言っても過言ではないと思います。フルートの活躍するジャンルは様々で、吹奏楽、オーケストラ、ジャズなど幅広く親しまれています。私は、埼玉県にあるフルートメーカーに勤めています。平成27年度に入社し、現在2年目です。まだ勤めて1年と少しですので、日々修行です。当社の製品は、ハンドメイドにとことんこだわり、すべての製品に人の手がかかっています。その中でも私は管体(大元の筒の部分になります)が、わからない方、興味のある方は吹奏楽部の方に聞いてみてください。)に部品を組み付ける作業を担当しています。先ほども述べましたが、当社のフルートは1つ1つ人の手で作られています。それぞれ微妙な個体差に応じて部品の位置、長さを決定していきます。金属を扱いますので、力のいる作業もありますし、溶接作業では火を扱います。金属は加熱しすぎると素材本来の輝きが失われてしまったり、音が綺麗に響かなくなってしまうたりします。更に洋白、銀、金などそれぞれ素材に合わせた扱いが必要で、どの場面でも高度な技術が必要です。銀製、金製のフルートは特に高度な技術が必要で、主に熟練の方が製作にあたっています。



## 職場の様子

# 職

人気質という感じの方が多く、皆さん仕事に対して非常に熱心です。仕事はとにかくシビアに、それ以外の時間はみなさん気さくに接して下さいます。仕事とそれ以外のメリハリがとてもはっきりしています。



# 就職前と就職後の印象の差

## 専

門学校在学時に企業見学に行った段階でも、シビアな雰囲気だと漠然に思っていたんですが、思っていたよりも更にシビアでした。研修期間は特になく、初めから生産ラインに乗り、上司先輩方にご指導を頂きました。1年目から製品として必要な精度と一人前の生産量を求められます。歴史の長い会社で、これまでの先輩方が気づき上げてきたブランド力のある会社なので、中途半端なものを作る事はできません。職人として、社会人として、仕事を覚えられるまでは正直かなり厳しいご指導を頂きました。大きい声を出されることも沢山ありましたし、夜遅くまで付き合ってくださいこともありました。しかし、今の自分があるのは全てそれらのお陰だと思っています。



## 学生と社会人の違い

## 社

会に出た方皆さん『責任の差』とおっしゃるかと思います。まさにその通りで、自分の仕事全てにおいて自分に責任があるというのをどこまで自覚できるかが大切です。たとえ新入社員と言えど、お給料をもらっている以上、それに見合った仕事を自分の力でこなさなければなりません。

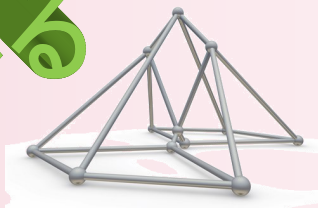
量や質はもちろんのことですが、例えば、もし工作中ミスをしてしまった時、同じ失敗をしないために原因を探ることは大切なことですが、その捉え方にも自分がどれだけ責任を持って仕事ができているかが現れるかと思います。『普段通り仕事をしたが〇〇があったのでこういう結果になった。』『〇〇に気づいて対処することができなかった。』原因の根本は同じでも捉え方によって次の仕事に対する姿勢も変わってきます。

学生時代に、学級役員でも課題の提出でもなんでもいいですから、そういった最後まで責任を持つという事を意識してみたいかがでしょうか。





# いま役に立っていると感じる 高校時代の経験



**部** 活動だと思います。私は3年間吹奏楽部に所属していました。2年生になってからは役職にもつきましたし、休みの日も年間数日で毎日忙しく過ごしていました。部内の役職は会計を担当し、部費の管理をしていました。仕事がかまうまわらず、顧問の先生に叱られることもありました。毎日の練習も、私は演奏があまり上手い方ではなかったので、うまくいかなかったり厳しく言われることもありました。そこで何度も練習してできないことを克服していくといった過程が、現在の仕事を覚える、技術をつけるということに役立っているかと思います。



**将** 来どんな仕事がしたいか考えたことはありますか？まず高校在学中に一度将来の職業について考えてみて頂きたいと思います。もし希望職種をある程度絞れるならば、専門学校に行くという手もあります。大学よりもより専門的に短期間で学べ、いち早く現場に出ることができるのがメリットです。反対に大学のメリットは、将来について考える時間をゆっくり取れること、皆さんが学びたいと思っている学科についてより掘り下げられるということかと思っています。専門学校に行くことのデメリットは進路がかなり絞られてしまうことです。専門学校への進学を希望している人は、かなり将来へのイメージが確立している必要があります。

私は中学生の頃から楽器に携わる仕事がしたいと考え、情報収集を行っていました。そのお陰か、部活動などでなかなか時間が取れない中でも1年生の時から学校見学に行ったり進路についてゆっくり考えることができました。専門学校入学後、具体的に楽器業界のどんな仕事がいいのかを考え、今の職場に就職しました。学生時代からの夢だった職業だからこそ、大変だと思う時も頑張る事ができていると思っています。

